



清らかな流れ・美しき丘陵を次代につなぐ 白鷹北部の棚田地域振興プロジェクト

白鷹北部地区棚田地域振興協議会（白鷹町）



ビジョン

農家だけではもう限界！ 地域ぐるみで美しい棚田を継ぐ。



背景 それぞれの集落協定だけでは農地の保全がいよいよ難しくなってきた！

やまがたの棚田20選「中山の棚田」「深山の棚田」がある白鷹北部の中山間地では、6つの集落ごとに協定を結び、直接支払制度を活用し農地の保全や棚田景観の維持に取り組んできた。農業者の高齢化や跡継ぎ不在などを理由に協定の存続が難しい集落が出始めている。令和元年度に国が「棚田地域振興法」を制定し、棚田を「国民共有の財産であり宝」として省庁横断での施策展開を始めたことを契機に、白鷹北部では農家・非農家や集落ごとの垣根を払い、地域ぐるみによる棚田保全・地域振興に取り組むべく協議会を立ち上げた。

問題 農業や地域の後継者は減少↓鳥獣被害は増加↑ 条件は厳しくなるばかり・



問題①

棚田の荒廃農地化の危機！

急傾斜地における農業生産、農地の維持・管理は負担が大きい。さらに近年はイノシシなどの獣害増加により農業継続の意欲が減退。

問題②

貴重な地域資源が活かされていない

豊富な自然環境や良好な景観だけでなく、地域ならではの伝統行事や食文化などの魅力的な資源が活用されず、次世代への継承も危うい状況。

取組み 集落ごとに戦略を作成、共通の活動は地域ぐるみで実践

棚田の魅力を守り・活かしていくための『指定棚田地域振興活動計画』を策定・推進

工夫①

10年後の姿について
徹底的な話し合い



- 延べ14回ワークショップ開催
- 集落協定と自治会の参加

工夫②

他の地域計画策定と
連動した取組み！



- 人・農地プランの実質化
- コミュニティ計画の見直し

工夫③

若者の**チカラ**を引き出し
デジタル新技術も活用！



- 大きな課題の担い手不足も柔軟に立ち向かう

期待される結果

- 全協定で「集落戦略」を策定し中山間地域等直接支払交付金10割単価を**GET**！
各集落の話し合いをベースに「棚田地域振興活動計画」を策定し棚田加算措置を**GET**！
☞ **棚田加算分を協議会の資金**とし白鷹北部全体において多様な活動を積極的に展開！
- 様々な計画と連動することで**地域ぐるみの実践**が容易に！農家では思いつかない提案も多数！
- これからの**地域を担う若者**も話し合うことで自らが実行したくなる計画に！

まとめ

- ① はじまったばかりではあるが、集落ごとに話し合って策定した「棚田地域振興活動計画」は、早速活動実践につながっている。
- ② 新型コロナウイルス感染予防のため話し合いの参加者を限定したので、今後は若者や女性の提案などをもっと取り入れ、見直す機会を継続してつづけていきたい。

補足情報

【取組地域の概要】

○ 位置



○ 地域の概要

県南部の白鷹町は耕地面積の約6割を占める中山間地において、米作を中心にリンゴ、トマト、酪農による生乳生産を行うとともに、日本一の生産を誇る紅花の加工技術や深山和紙、白鷹紬などの伝統工芸技術を継承している。

なかでも白鷹北部では早くから中山間地域等直接支払制度による農地保全やグリーンツーリズムによる交流人口の増加などの中山間振興施策に取り組んできた。

○ 団体概要

組織名：白鷹北部地区棚田地域振興協議会

設立日：令和3年4月

構成員数：27名

(農家 30%、非農家 70%)

主な財源 中山間地域等直接支払交付金のうち棚田加算措置分

○ 主要作物

- ・ 稲作を中心にリンゴ、酪農による生乳
- ・ 希少なホップ栽培や荒廃農地を活用したワイン用ブドウにも取り組む

○ その他

古民家を活用したゲストハウス。どちらも日中はカフェとして営業。詳しくはWEBで



353KUROGAMO



くらしnoie族mabushi



草刈隊結成！地域のチカラで美しい農地を保全

- 平成30年度に中山集落協定では県内のモデル地区として、自走式草刈機を導入し、農地維持活動を省力化。
- さらに令和2年度には地域の若いチカラも取り入れるべく「草刈隊」を結成。
- 協議会では、すべての集落協定で利用できる自走式草刈機やドローンの導入、操縦者を育成することによるスマート農業の推進に着手。



狩猟人材の育成！地域ぐるみで獣害対策

- 最近特に被害が増えているイノシシ被害は全協定共通の課題。
- 地域ぐるみによる取組が必要＆急務だ！と皆が思っていた。
- 協議会では、すべての集落で各1名以上の狩猟人材を育成することとし、早速研修会を開催。



若者のアイディア全開！地域復興と情報発信

- ワークショップでは「資源があるのに活かせてない」「情報発信も下手だ」などの「気づき」から、若者ならではの斬新で夢のある提案が多数。
 - 中山地区では早速若者が終結し「なかやまベース」を立ち上げ、地域を元気にするイベントや地域外への情報発信を計画している。
- ビジネス展へ夢が広がる...



集落ごとの話し合いから 地域全体の活動計画を策定！

ここが
ポイント

目標

白鷹北部地区棚田地域振興活動計画の策定

白鷹北部地区棚田地域振興活動計画（鷹山・鮎貝を包括した計画）

◎担い手対策・就農対策・土地利用計画 等

白鷹北部全体で取組む項目で構成した計画

白鷹北部全体で取組む項目で構成した計画

鷹山地区
棚田地域振興協議会

鮎貝地区
棚田地域振興協議会

3地区協働で活動展開していく

3地区協働で活動展開していく

ワークショップ③

目標

中山間地域等直接支払交付金における集落戦略の作成と10割交付要件の達成

集落戦略
策定

集落戦略
策定

集落戦略
策定

集落戦略
策定

集落戦略
策定

集落戦略
策定

ワークショップ②

WSの成果を活用して各々に集落戦略を策定

WSの成果を活用して各々に集落戦略を策定

ワークショップ①

事前アンケート

集落戦略
WS

集落戦略
WS

集落戦略
WS

集落戦略
WS

集落戦略
WS

集落戦略
WS